

2025. 2 月速報 業況DIは、コスト増による需要停滞で、悪化続く。先行きは、人手不足と物価高の長期化で慎重な見方

全産業合計の業況DIは、▲20.5（前月比▲5.1ポイント）。小売業・サービス業は年始需要が一服する中、急激な気温低下による客足減少と電気代等のコスト増で、卸売業は飲食料品や日用品の引き合い減少でそれぞれ悪化しました。また、製造業は機械器具関係全般が力強さを欠いた状態で、建設業は公共工事が一段落した中で一部で降雪による工事停滞

の影響が見られ、それぞれ悪化しました。全業種で業況DIが1.0ポイント以上悪化したのは、2024年6月以来8カ月ぶりです。長引く物価高と消費意欲の低迷、円安基調や原油価格の上昇に伴うコスト負担増、深刻な人手不足など長期的課題は山積したままのうえ、2度に渡る大寒波の影響も大きく、中小企業の業況は2カ月連続で悪化を示しました。

【産業別概況と見通し】 前月と比べたDI値の動き ➡改善 ➡ほぼ横ばい ➡悪化



資材価格やエネルギー価格の高止まりが続く中、住宅関連を中心とした民間工事の不振継続や、公共工事の落ち着いたきにより、悪化。技術者等の専門人材の不足を訴える声は引き続き聞かれている。

- ・「前年同月と比較して、売上はそれほど変動はないものの、燃料価格や資材価格が上昇しているため、採算が悪化しており、総じてみると業況は悪化している。今後の見通しも好転材料が少なく、現在のような経営状況が続くと思われる、打開策を見出していかなければと考えている」（一般工事業）
- ・「深刻な人手不足に拍車がかかっている。人材がいれば受注ができ、売上確保につながるため、業況も改善していくと思われる」（大工工事業）



寒波に伴う急激な気温低下で春物衣料など繊維製品関係の売上が伸び悩んだほか、自動車関連や一般機械・電子機器など機械器具関係全般の需要が低迷し、悪化。

- ・「原材料・燃料・労務費などすべてのコストが増加している中で、価格転嫁交渉に努めているが、再三の値上げ要請となっており、次第に交渉が厳しくなっている。価格競争に巻き込まれない経営を目指すべく、自社特有の製品の扱い量を増やしていく」（自動車・付属品製造業）
- ・「電気・ガス代や燃料費の上昇が経営を圧迫している。補助金・税制面の対策を積極的に行ってほしい」（紙製品製造業）



急激な気温低下で客足が減少した小売業・サービス業からの引き合い減少に加え、補助金縮小に伴う輸送費の上昇等でコスト負担が増加し、悪化。

- ・「仕入価格の上昇が止まる気配がなく、卸売価格も上げざるを得ず、必然的に取引先の販売価格も高くなるため、最終消費者の購買意欲が下がっている。実質賃金が多少プラスになっても、消費マインドは低いままで、取引量は減少している。」（食料・飲料卸売業）
- ・「仕入価格に加え、輸送費のコスト増も負担になっている。小口案件では、輸送費のほうが高くなることもある」（一般機械器具卸売業）



インバウンド需要は堅調なもの、年始特需が落ち着く中、急激な気温低下による客足減少で百貨店・専門小売店・商店街など様々な業態で、悪化。気温低下に伴う暖房使用量の増加で、コスト負担増を訴える声が聞かれた。

- ・「強い寒波が長期間続き、厳しい寒さから来店客数が減少し、売上が減少。また、暖房使用量も増えたことで、燃料コストも増加した。加えて、物流の遅延や一部商品の供給不足で在庫調整等が必要となり、思い通りの事業活動が行えなかった」（百貨店）
- ・「仕入価格の上昇分を価格転嫁したが、販売価格を上げたことで来店客数が減少し、売上も悪化してしまった」（文具・事務用品小売業）



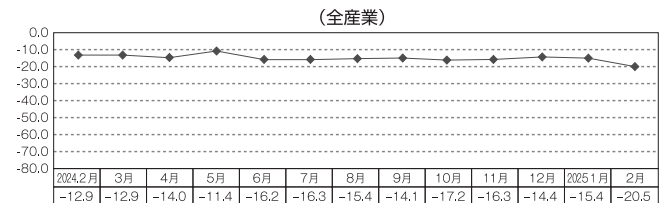
補助金縮小による原油価格の上昇でコスト負担増が続く運送業や、急激な気温低下で客足が減少した飲食・宿泊業が全体を下押しし、悪化。年度末に向けて、人材確保の方法を模索する声も多く聞かれた。

- ・「寒波による急激な気温低下で客足が減少し、売上が伸び悩んだ。加えて、昨今のキャッシュレス決済の普及による手数料負担、振り込みまでのタイムラグの影響で運転資金が不足し始めている」（飲食店）
- ・「賃上げに努めているが、なかなか人材が集まらない。年度末に向けて短時間バイト等のスポットワーカーを活用する予定である」（遊園地）

業況DIの推移

	2024年 9月	10月	11月	12月	2025年 1月	2月	見通し 3~5月
全産業	▲14.1	▲17.2	▲16.3	▲14.4	▲15.4	▲20.5	▲15.6
建設業	▲8.4	▲11.8	▲12.6	▲11.3	▲10.6	▲16.7	▲14.2
製造業	▲23.4	▲22.0	▲20.4	▲21.4	▲20.7	▲25.0	▲16.5
卸売業	▲16.1	▲26.1	▲19.0	▲17.5	▲17.2	▲19.5	▲20.3
小売業	▲18.7	▲24.1	▲23.2	▲20.2	▲19.7	▲28.5	▲20.1
サービス業	▲4.3	▲6.9	▲8.5	▲3.4	▲9.4	▲13.0	▲10.1

※見通しは、当月に比した向こう3ヶ月の先行き見通しDI



※調査期間：2025年2月12日～18日

全国322商工会議所が2,455企業にヒアリング（東北については、被災を免れた企業や被害が軽微な企業から回答）

※DI値（景況判断指数）

業況・売上・採算などの各項目についての判断の状況を表す。ゼロを基準として、景況感の相対的な広がりや意味する。

県内企業倒産発生状況

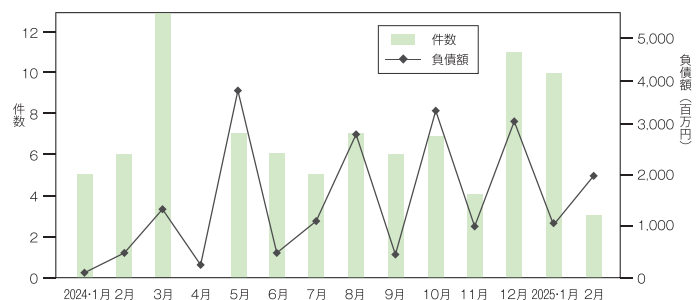
3カ月ぶりに一桁台、前月・前年同月に比べ件数は大幅減少

〈令和7年2月概況と見通し〉

山形県内の経済は、公共投資や設備投資などの増加、個人消費の回復や底堅い動きなどを材料に「緩やかに持ち直しているものの、このところ弱含みの動きとなっている」と判断されています。一方で、県内の倒産件数は3件で、2カ月ぶりに一桁台の発生となり、前月、前年同月を大きく下回りました。ただし、これが直ちに企業業績の回復によるものとするのは早計、依然としてコロナ禍からの業績回復が遅れている企業も散見される他、貸出金利の上昇局面にあっ

て過剰債務を解消できない企業では収益に影響がでる時期となっています。その他にも、原価高への価格転嫁が進まない企業、人手不足や後継者難の解消に至らない企業なども多く、大手企業の好業績が中小企業まで波及せず、中小企業でも業績の二極化が進んでいます。倒産件数は、資金需要の高まる年度末に向けて、急切れた企業の倒産が押し上げる形で再び増勢を強める可能性もあります。

山形県 月別倒産件数 負債額



	東 南 置 賜		山 形 県	
	件数	負債金額	件数	負債金額
令和7年2月	1	百万円 100	3	百万円 2,090
前月比(%)	50.0	87.0	30.0	180.6
前年同月比(%)	-	-	50.0	144.5

東南置賜…米沢・南陽・高畠・川西

資料／東京商工リサーチ

県内消費者物価指数 前年の水準を上回った

令和7年1月	指 数	前 月 比 (%)	前年同月比 (%)
食 料	127.0	2.5	9.3
住 居	108.2	▲0.1	1.3
光熱・水道	118.6	0.7	8.1
家具・家事用品	123.0	0.4	4.5
被服及び履物	114.0	▲0.2	2.4
保 健 医 療	105.1	▲0.1	1.1
交通・通信	99.3	1.3	2.3
教 育	100.0	0.0	0.0
教 養 娛 楽	113.5	▲0.7	1.9
諸 雑 費	105.0	0.2	1.1
総 合	113.2	0.9	4.5

資料：山形県みらい企画創造部統計企画課

百貨店・スーパーの商品別販売額 県内の販売額は前年を上回った

令和7年1月		(単位：百万円、%)			
品 目	地 域	全 国		山 形 県	
		百貨店＋スーパー		百貨店＋スーパー	
		販 売 額	前年同月比 全店舗	販 売 額	前年同月比 全店舗
紳士服・洋品		45,258	▲1.7	158	▲2.6
婦人・子供服・洋品		147,396	4.0	133	▲4.1
その他の衣料品		12,643	▲0.2	25	2.8
身の回り品		108,206	4.1	30	0.6
飲 食 料 品		1,239,917	5.1	10,750	4.2
家 具		6,426	▲11.8	111	2.5
家庭用電気機械器具		16,154	▲2.1	69	▲16.3
家 庭 用 品		37,567	2.0	216	▲17.9
その他の商品		276,633	2.7	798	▲2.8
食 堂 ・ 喫 茶		11,997	▲5.2	30	▲2.2
合 計		1,902,197	4.1	12,321	2.8

経済産業省 東北経済産業局調べ
(注：販売額は四捨五入の関係で合計とは一致しない場合があります)

米沢市の人口と世帯数

令和7年2月1日現在	
人 口	76,647人 (77,926人)
世帯数	33,595世帯 (33,644世帯) 一世帯当り 2.28人 (2.32人)
() 内前年同月データ 資料／米沢市政策企画課統計調査担当	

一般職業紹介 有効求人倍率は前年を0.05ポイント上回った

米沢市		新規学卒除きパートタイム含む			
令和7年1月		求人数	求職数	求人倍率	充足数
	有効	2,792	2,085	1.34	127
前 月 比 (%)	新規	998	506	1.97	－
	有効	100.6	100.6	99.2	88.2
前年同月 比 (%)	新規	85.7	85.7	104.5	－
	有効	67.3	67.3	95.6	78.4
前年同月 比 (%)	新規	65.2	65.2	79.0	－

充足数…自安定所の有効求人が安定所の紹介により、求職者と結合した件数

職種別（山形県）

	求人数	求職者数	求人倍率
管 理	46	26	1.77
専 門 ・ 技 術	3,751	1,667	2.25
事 務	2,219	3,825	0.58
販 売	2,400	1,003	2.39
サ ー ビ ス	3,912	1,654	2.37
保 安	687	106	6.48
農 林 漁 業	198	282	0.70
生 産 工 程	3,341	2,187	1.53
輸送・機械運転	1,079	476	2.27
建設・採掘	1,451	238	6.10
運搬・清掃	1,729	2,826	0.61
そ の 他	0	1,207	－

(主要業務指数・パートタイムを含む全数)
資料：山形労働局職業安定課

米沢市建築確認申請状況（専用住宅） 件数・床面積とも前年を上回った

令和7年2月		件 数			床 面 積 (㎡)		
		2・3号建築物	4号建築物	小 計	2・3号建築物	4号建築物	小 計
	総 数	1	20	21	116	2,190	2,306
新 築	新 築	1	20	21	116	2,190	2,306
	増 築	0	0	0	0	0	0
前 月 比 (%)	総 数	－	181.8	190.9	－	230.5	242.7
前年同月比 (%)	総 数	100.0	200.0	190.9	87.9	215.3	200.7

専用住宅 2・3号建築物…建築基準法第6条第1項2・3号建築物（木造3階建築物、木造以外の2階以上建築物など）
4号建築物…建築基準法第6条第1項4号建築物（2・3号に挙げる建築物以外、木造2階住宅など）

